

よりよい未来をともに学び・ともに創る  
ファシリテーターのための参加型アクティビティ集

## コミュニケーション編

－他者に関わる力を育もう－



# はじめに…

今日の社会を見渡してみると、「いじめ」「パワハラ」「スクールカースト」など、様々なコミュニケーションの問題が見つかります。視点を広げてみると、「民族対立」「領土問題」などの問題も、コミュニケーションの問題と捉えることができます。

私たちは、1997年にNIED・国際理解教育センターを設立し、参加と対話を通して環境や人権や平和など様々な課題を解決し、持続可能な未来を築くことを目的に、全国各地で国際理解教育を実践してきました。近年は、教員などの指導者の育成に力を入れて活動しています。「国際理解教育を実践する団体が、なぜコミュニケーションの本なのか？」と疑問に思われる方もいます。しかし、環境や人権や平和などの課題も、原因を丁寧に辿れば、人と人のコミュニケーションの問題にも行き着くはずです。なぜなら、人はコミュニケーションによってお互いを理解し尊重し、そして合意形成を行うからです。また、私たちは、「平和」「人権」「環境」などの社会の課題と同列で「コミュニケーション」や「セルフエスティーム(自尊感情)」を扱っています。コミュニケーションを学ぶことで、他者に関わる力が育まれます。平和や人権を学ぶことで、よりよい社会をともに創る力が培われます。そして、一人ひとりの行動が変わります。一人ひとりの行動が変われば、様々な課題が解決し、持続可能な未来を築くことができるはずです。

この本は、コミュニケーションスキルを育むアクティビティを掲載した入門書です。コミュニケーションスキルは、理論をどれだけたくさん見聞きするより、実践することで磨かれます。もちろん、この本に載っているアクティビティをすべて実践したからといって、コミュニケーションの問題がすぐになくなるとは限りません。しかし、この本のアクティビティを教室や講座、研修などで実践してみてください。きっとコミュニティが変わるはずです。また、参加型アクティビティやワークショップの進行がはじめての方も、この本を読めばどのように進行すればよいかかわかるように、丁寧に記載しました。この本を通じて、教室や職場や地域や社会でのコミュニケーションの質が変わることを願っています。

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

# 目次

国際理解教育とは	… P. 4
よく使う手法と解説	… P. 14
発表・共有の方法	… P. 25
グループの作り方・分け方	… P. 28
アクティビティ集	… P. 29
アクティビティページの見方	… P. 30
ステップ0. アイスブレイク	
-1 バースデーラインナップ	… P. 32
-2 人間知恵の輪	… P. 33
-3 わたしは誰でしょう	… P. 34
-4 素敵なハート	… P. 35
-5 三角のもの探し	… P. 36
-6 わたしに関する10の文	… P. 37
-7 名刺で自己紹介	… P. 38
-8 3つはホント、1つはウソ	… P. 39
-9 すごく自己紹介	… P. 40
-10 同じところと違うところ	… P. 41
-11 4つのコーナー	… P. 42
ステップ1. コミュニケーションとは？	
-1 話し合いのルール作り	… P. 44
-2 コミュニケーションといえば	… P. 46
-3 コミュニケーションの辞典作り	… P. 47
-4 コミュニケーションの方法出し	… P. 48
ステップ2. コミュニケーションの大切さを知る	
-1 もしもコミュニケーションがなかったら	… P. 49
-2 ガリバーの不思議な国	… P. 50
-3 あなたはどっち？ ○か×か	… P. 51
-4 新聞紙で動物を作ろう！	… P. 52
ステップ3. コミュニケーションスキル	
-1 傾聴	… P. 54
-2 言葉の玉手箱	… P. 55
-3 ほかほか言葉とちくちく言葉	… P. 58
-4 リフレーミング1 - いつも前向き・肯定的 -	… P. 60
-5 リフレーミング2 - 短所を長所に -	… P. 62
-6 いろいろな言い方	… P. 63
-7 いろいろな聞き方1	… P. 64
-8 いろいろな聞き方2	… P. 66

-9 伝達ゲーム 1	… P. 68
-10 伝達ゲーム 2 - 一方通向・双方向 -	… P. 70
-11 以心伝心・モールス信号	… P. 72
-12 仲間探しゲーム	… P. 73
-13 アサーショントレーニング 1	… P. 74
-14 アサーショントレーニング 2	… P. 79
-15 対立はどこにある	… P. 81
-16 対立のメリット・デメリット	… P. 82
-17 対立のエスカレーター - 激化 -	… P. 84
-18 対立のエスカレーター - 緩和 -	… P. 86
-19 みんなでバカンス	… P. 88
-20 SNSのリスクを考えよう	… P. 90
ステップ4. 行動計画	
-1 こんな問題がある! 今のコミュニケーション	… P. 92
-2 よりよい人間関係を築くために大切なこと	… P. 94
-3 個人・仲間・社会でできること	… P. 95
-4 よりよいコミュニケーションのための7カ条	… P. 96
-5 みんながみんなのサポーター	… P. 97
モデルプログラム	… P. 99
-1 目指せ! コミュニケーション名人	… P. 100
-2 コミュニケーション能力を磨こう	… P. 102
-3 よりよいコミュニケーションのあふれる社会	… P. 104
-4 対立との上手な付き合い方	… P. 106
-5 情報を正確に伝えるために	… P. 108
NIED・国際理解教育センターについて	… P. 109
参考文献	… P. 112



## コラム

時間の使い方	… P. 24
グループを解体して共有する	… P. 27
指示の曖昧さについて	… P. 32
マジックマイク	… P. 45
プライバシーの尊重について	… P. 56
コミュニケーションスキルについて	… P. 73
アサーション	… P. 75
対立を上げるエスカレーター	… P. 87
「ねらい」と「願い」	… P. 99

# 国際理解教育とは

## 「知る」「気づく」「行動する」－国際理解教育の3ステップ－

地球温暖化、貧困・格差、戦争・紛争、資源エネルギー問題、少子高齢化、限界集落問題、無縁社会など多くの社会的課題を抱え、それを解決できないままに私たちの生きる地球や地域は、いつか破綻する（＝持続不可能）と言われています。A国がくしゃみをすればB国が風邪をひくような、相互につながりのあるグローバル化した世界にあっては、一国の課題はもはや一国だけのものではありません。環境、人権、平和はどれも人類共通の課題であり、ある国で問題が起きれば、めぐりめぐって私たちにまで影響が及んだり、その問題の原因は、実は私たちにもあつたりするかもしれないのです。

国際理解教育が目指しているのは、私たちの暮らし方のどこが地球環境にとって過剰な負荷となっているのか、何が生きにくい社会を創り出す原因となっているのか、一人ひとりが知り考え気づき、自らの意識と行動を変えていくということです。地球や地域を持続可能なものにしていくために人々の意識や行動の変化を促し、つながりを再構築していく教育活動が国際理解教育です。持続可能な未来を創るために、国際理解教育の3ステップが大切にされています。

### 国際理解教育の3ステップ

- ① 知る…自分自身のことを知る、身近な他者のことを知る、社会のことを知る
- ② 気づく…社会で起きていることは、他人事ではなく自分にも関わりのあることだと気づく
- ③ 行動する…課題解決とよりよい未来をともに創るためのスキルを身に付け、行動する

## 国際理解教育が大切にしている学び方－参加と対話を基盤とする「参加型学習」－

持続可能な未来に向けて、一人ひとりの意識と行動を変えていくためには、知識を得るだけでは十分ではなく、行動へとつながる気づきのある学びが必要です。

参加型学習は、学習者主体、対話形式、協働形式の学び方で、参加と対話を通して共に学ぶことで、持続可能な未来創りに役立つ価値観を育て、行動変容を支える方法論です。一方向の情報伝達ではなく、学習者相互の双方向の関わり合いにより、自分で考え他者から学ぶことを重ね、「知り」「考え」「気づき」「行動する」プロセスをつなぎます。参加型学習は「みんなが先生、みんなが生徒」と例えることができ、誰か1人から教わり個人の知識を増やすのではなく、学びを分かち合い、共有することを進めます。

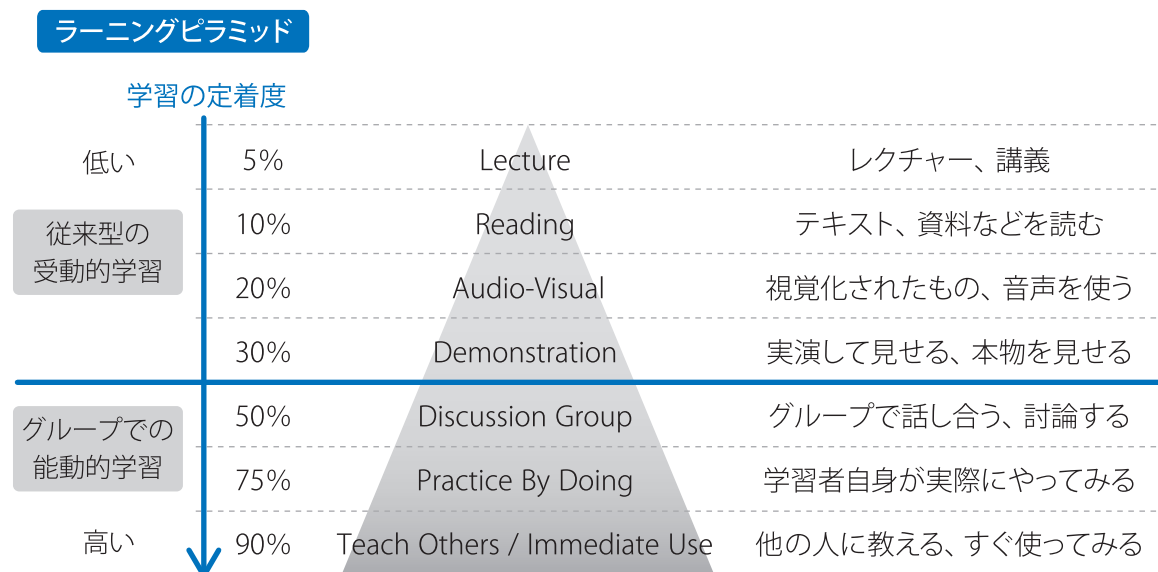
### 知識伝達型の教育と参加型の学び方の違い

知識伝達型の教育		参加型の学び方
<ul style="list-style-type: none"><li>・講義形式</li><li>・一方向</li><li>・過去（学問的所産）を学ぶ</li></ul>	教育の方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・体験／対話／協働形式（知の獲得と創造）</li><li>・双方向</li><li>・過去から学び、現在を学び、未来を創る</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・「教える－学ぶ」という関係</li></ul>	学習者と指導者の関係	<ul style="list-style-type: none"><li>・協働的な探求者の関係</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・知識、教養を身に付ける（個人の変化）</li></ul>	予想される学習効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・能力と価値観を身に付け、行動につながる動機付けを得る</li><li>・地域や社会も変化する（個人、地域、社会の変化）</li></ul>

国際理解教育が大切にしている学びの方法は、参加型で学ぶということです。ではなぜ参加して学ぶことが大切なのでしょう。

よく参加型学習の説明に使われるフレーズに、「聞いたことは忘れる。見たことは覚える。やったことはわかる」という中国の言い伝えがあります。聞いた話より実際に見たものの方がより印象に残り、見るだけでなく体験したことには発見があり、理解を助ける、ということです。

もう1つ、ラーニングピラミッドという図を見てみましょう。



参考：アメリカ国立訓練研究所 (National Training Laboratories)

ラーニングピラミッドとは、学習の方法と学習の定着度の関係を示した図です。学習の中で、学習者同士が関わり合ったり学習者自らが行う活動が増えたりするほど、学習定着度が高くなる、という図になっています。この図に関しての確かな実証実験があったわけではありません。しかし、先程の中国の言い伝え同様、このラーニングピラミッドの考え方が世界中に広まっている事実を見ると、教育に関わるたくさんの方が、「能動的な学習を増やすことで、学習の定着度が上がる」と各自の体験から感じているということではないでしょうか。

## 変化のための参加型 –参加型の目的–

### ■ 無関心の悪循環を断ち、他人事を自分事につなぐ

「関心がないから参加しない。参加しないから情報を得られない。情報が得られないから関心がないまま…」という無関心の悪循環を断ち、社会への関心を育てることと、「自分とは遠いところで起きていることで自分には関係ない」と感じがちな地域や世界の問題を自分事として捉えるために、参加型の学びは有効です。

参加して学ぶことのよさは、第一に「楽しく学べる」ということです。人は「楽しい」と感じる信頼に満ちた自由な雰囲気の中で、最も多くのことに気づき学ぶと言われています。体験しながら「楽しく学ぶ」ことで、「学ぶことは楽しい」と思えるようになります。

－アクティビティ集－











# バースデーラインナップ



[準備物] なし

ねらい ■ 非言語コミュニケーションを体験する。

## 進め方



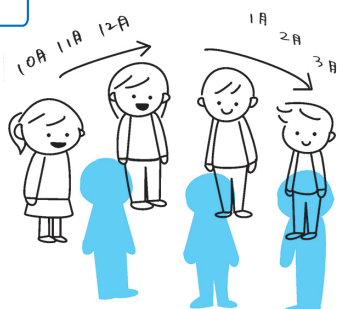
1. 一言も話をせずに誕生日順に輪になる。…5分

**F** 一言も話さないで、誕生日順に並び輪になりましょう。

▶ 年齢を公開したくない人もいるので年はいれない。

### 基本的なルール

- お喋りは禁止とする。筆談もしない。
  - ジェスチャーは使ってもよい。
  - 1月1日を起点とし、時計回りに並ぶ。
- Fが自分の誕生日を告げて起点としてもよい。



2. 全員が並び終わったら、Fが正しく並べているか一人ひとりに誕生日を確認する。…5分



- ・参加者全員が並ぶことができるスペースを確保する必要があります。
- ・円に並ぶスペースがない場合は一列に並ぶ方法もあります。
- ・並ぶ順番は、早く起きた順、睡眠時間など、誕生日に限らず状況や目的に合わせて変えてもよいです。ただし、身体的なサイズや接触が必要なものは、対象となる参加者を考えて配慮する必要があります。
- ・正しく並べたかどうかは重要ではないので、間違っても参加者が負担に思わないよう配慮する必要があります。
- ・小学5年生120名でも5～10分程度でできます。
- ・当日誕生日の人や誕生日に近い人がいたら、みんなでハッピーバースデーを歌うと場が和みます。

### コラム

#### 指示の曖昧さについて

「一言も話さないで」の捉え方は、個人によって若干の違いがあります。このアクティビティを行う時に「手の平に指で字を書くのはいいですか」などの質問が出る場合があります。ねらいとして「非言語コミュニケーションを体験する」が意図されているならば「それもいけません」と答えるべきですが、そうでなければ「よいです」と答えても『一言も話さないで』が条件です」とくりかえし伝えても、どちらでも構いません。参加型アクティビティでは、あえて指示する条件を曖昧にしておき、参加者の判断にゆだねることもあります。参加者が自分たちで考えて判断するのに任せることで、より参加者主体の場を作ることができます。



# 話し合いのルール作り



[準備物] A4用紙・ペンセット × グループ数、模造紙 1 枚

ねらい ■ 話し合いのルールを自分たちで考え、決定する。

## 進め方



グループ

1. 「お互いが気持ちよく話し合いをするためのルール」を、グループでできるだけたくさん A4用紙に書き出す。… 10分 P.14ブレインストーミング



全体

2. グループで出た意見を各グループ 2 つずつ発表し、F は板書する。… 15分  
▶ 同じ意見は発表しない。  
▶ 意見はすべて板書する。

3. 出てきた意見を全員が納得ができるものに修正する。… 20分

**F**

違和感を感じる意見はありますか。また、「～しない」という意見は、できるだけ「～する」という意見に直しましょう。

- ▶ 内容が同じものがあるか、「これはなくてもいい」「おかしい」「違うな」と思うものはあるか、話し合う。
- ▶ できるだけ「～する」という意見に直すのは、「～しない」という禁止事項を決める (= マイナスをなくす) のではなく「～する」という、よりよくなるために約束事 (= プラスを作り出す) を決めることが目的であるため。ただし、わかりにくくならないようにする。  
例) 途中で口を挟まない → 最後まで聞こう

4. まとまった「話し合いのルール」を模造紙に書き、掲示する。… 5分

## 成果物例

[進め方 4. 話し合いのルール]

[小学校 4 年生]

- ① 友達の話は最後まで聞こう
- ② 話に集中しよう (手遊びはやめよう)
- ③ ほかほか言葉を使おう (さらばちくちく言葉) … アクティビティ「ほかほか言葉とちくちく言葉」(P.58)
- ④ 相手の方を見て話そう
- ⑤ はっきり話そう

・ 10カ条にまとめるまでのプロセスの中で候補に挙げたもの

- ◇ 話の途中に割り込まない → ①
- ◇ ちくちく言葉は使わない → ③
- ◇ 人の話は静かに聞く → ②
- ◇ もじもじしない → ⑤

◆ 相手を大切にしよう

(失礼のないように…間違えても笑わない、失礼な態度をとらない、周りの人のことを考える)

◆ 姿勢を正して聞く

◆ 自慢しない

- ◇ …話し合いの結果、他の番号の言葉に含まれた、または言い換えられたなど、最終成果物に吸収されたものとその番号
- ◆ …10カ条に入れなくてもよいのではないかという意見でまとめ、最終的に削ったもの



# もしもコミュニケーションがなかったら



[準備物] 半模造紙・ペンセット × グループ数

ねらい ■ コミュニケーションの大切さを理解する。

進め方



1. 半模造紙の中央に「もしもコミュニケーションがなかったら」と記入し、円で囲む。… 2分
2. コミュニケーションがない社会を想像し、できるだけたくさん円の周りに書き込んでいく。  
… 10分 P.15 派生図

**F** もしもコミュニケーションがなかったらどんなことが起こるか、どんな社会になるかを考えましょう。



3. 成果物を共有する。… 6分 P.26 ギャラリー方式  
▶ 「いいな」と思うものに★印、どうしてそうなったのかわからない、意味がわからないなど質問したいものに？マークを付ける。
4. ?マークが付いているものがあつたら説明をする。… 5分
5. ★印が多く付いているものをいくつか発表する。… 5分
6. 感想と気づいたことを発表し、共有する。… 10分

成果物例

[進め方 5. ★が多く付いていたもの]

・仕事ができない・死んじゃう・学校がない・機械化が進む・社会が成立しない

[小学校6年生]

・友達と仲良くなれない・社会が成り立たなくなる・人類絶滅・世の中から何もなくなってしまう

アクティビティ後の感想

- ・想像しづらいと思った。
- ・今の社会はコミュニケーションがないと成り立たないことがわかった。
- ・コミュニケーションが必要ない仕事はありえない。

[小学校6年生]

- ・コミュニケーションってなくなると大変だ。とても大切なものだと思った。
- ・コミュニケーションがないと、よくない世界になる。平和にするためにはコミュニケーションがないとダメだ。
- ・考えるまで何ともないと思っていたけれど、いざ真剣に考えてみるとなんだか怖くなってきた。



- ・派生図を使ってコミュニケーションのない社会を想像し、コミュニケーションの大切さについて考えるアクティビティです。
- ・他の人と話さないと煩わしくなくていい、といった意見も出てくる場合があります。人間関係で苦労して悩んでいるさなかの人もいますので「そういう意見もある」ときちんと受け止めていくことが大切です。



# 傾聴



[準備物] なし

ねらい ■ 1対1でのコミュニケーションスキルを高める。

## 進め方



1. 話し手と聞き手を決めて、話し手は「好きな食べ物とその理由」について1分間にまとめて聞き手に話す。Fは傾聴の3つのルールを伝える。…5分

[傾聴の3つのルール]

- 1. 質問はしない。メモはとらない。
- 2. 心を寄り添わせて聴く。
- 3. 全身で共感を表しながら聴く。

- ▶ -1は聞き手が質問すると話がずれてしまうため。-2は気持ちのもち方、-3はその気持ちを態度で表すためのルール。
- ▶ -3の方法は、相手の方を見る、うなづくなど方法は自由である。共感というのは相手の意見に同意するというのではなく、「あなたの言っていることはこういうことですね、わかりますよ」の意味であることを伝える。

**F** 話し手と聞き手を決めて、聞き手は話し手の話を1分間聞いてください。

- ▶ 必要に応じて他のペアの声が気にならないように空間を広く使い、なるべく隣のペアと距離をとるように声を掛ける。
- ▶ ルールを理解しているか確認するために、話をはじめる前に「話し手」の人だけ手を挙げてもらうとよい。

2. 聞き手は話し手の話を聴いた後、30秒で話し手が話したことをそのまま返す。…5分

- ▶ 話し手の言葉をそのまま返すようにする。自分の感想や意見は交えないように注意する。

3. 話し手と聞き手を交代して[進め方1・2]をもう一度実施する。…10分



4. 2つのペアを合わせて4人のグループを作り、感想を共有する。…10分

**F** 傾聴をやってみた感想を、グループで共有しましょう。



5. グループで出た感想を共有する。…10分



- ・話し合うお題は他にも「今までのワークショップの感想」「本日の講座の参加動機」などにして実施することもできます。その時は[進め方4]は傾聴の感想だけでなく、話し合うお題に対する感想を共有することもできます。
- ・話し合うお題によっては[進め方1]の時間を1分間から2分間にすることもできます。
- ・1分で聞いたことを30秒にするのは、要点をまとめるスキルを身に付けるためです。
- ・[進め方1]の時点で、後からそのまま返すことがあることを伝える方法と伝えない方法があります。

# こんな問題がある！今のコミュニケーション



[準備物] 半模造紙 2 枚 × グループ数、ペン（暖色系・寒色系）× 人数

**ねらい** ■ 現代社会のコミュニケーションの特徴や問題点を俯瞰した視点から考える。

## 進め方



グループ

1. 現代社会のコミュニケーションでここが問題だ、と思うことをできるだけたくさん半模造紙に書き出す。… 5分 P.14 ブレインストーミング

▶ 日本で、世界でという視点と同時に、身の回りという視点でも考えたい。



全体

2. 他のグループの成果物を共有する。… 3分 P.26 ギャラリー方式

▶ ただ見て回るのではなく、「自分のグループでは出なかったアイデアをもち帰る」ことをミッションとする。

F

立ち上がって、他のグループのものを見て回しましょう。  
この時、自分のグループでは出なかったアイデアを、他のグループから1つでもよいのもち帰るようにしましょう。



グループ

3. グループに戻り、自分たちの成果物にアイデアを付け足す。… 2分

4. グループで相談して、出てきたアイデアのうち「自分にも関係があるな」と思うものを赤丸で囲む。… 2分

▶ 「自分と関係がある」とは「自分も嫌な思いをしたことがある」でも「自分もやったことがある」でもよい。

5. グループのうち半数を「社会で」、残りの半数を「自分のコミュニティで」と範囲を決め、出てきた問題を放置しておくとうどうなるか、新しい半模造紙に派生図を書き出す。

… 5分 P.15 派生図

▶ ペンの色は寒色系を使用する。

▶ 2つに分けて作業するため、グループ数は偶数が望ましい。

▶ 「自分のコミュニティ」とは、学級、学校、会社、近所などを指す。



全体

6. 「社会で」グループと「自分のコミュニティで」グループとで半模造紙を1対1で交換し、次のものを書き加える。… 6分

-1. 「なるほど」「いいな」と思ったものに★を付ける。

-2. 新しいアイデアがあれば、派生図に書き加える。

▶ 元のアイデアと書き加えられたアイデアとを区別するために、暖色系のペンを使う。



グループ

7. 派生図を元のグループに戻し、書き加えられたことを読む。… 2分



全体

8. アクティビティを体験した感想と気づいたことを共有する。… 5分

# 目指せ！コミュニケーション名人

## 所要時間

4時間5分

## ねらい

- よりよい学級をみんなで作り上げるためにコミュニケーションが大切だと理解する。
- コミュニケーションには言語コミュニケーションと非言語コミュニケーションがあることを理解し、どちらも大切であると気づく。
- お互いを大切にするためにどのようなことに気をつけるとよいか考える。

## 参加者

小学校5年生36名

## 展開

1. コミュニケーションとは何かを理解しよう
2. コミュニケーションの大切さを知ろう
3. どうすればお互いを大切にするコミュニケーションができるか考えよう
4. コミュニケーション名人になろう！

## 進め方

### 1. コミュニケーションとは何かを理解しよう

1. アイスブレイク：バースデーラインナップ (P.32) … 10分
2. コミュニケーションの方法出し (P.48) … 30分
  - コミュニケーションの方法を書き出し、非言語コミュニケーションに印を付ける。

### 2. コミュニケーションの大切さを知ろう

3. もしもコミュニケーションがなかったら (P.49) … 35分
  - コミュニケーションがなかったらどうなるかを考える。

### 3. どうすればお互いを大切にするコミュニケーションができるか考えよう

4. 言葉の玉手箱 (P.55) … 50分
  - 自分が今まで受け取ってきた言葉を「嬉しかった言葉」と「悲しかった言葉」に分別してふりかえる。
5. いろいろな言い方 (P.63) … 15分
  - 同じ言葉でも言い方を変えることで、聞き手がどのように感じるかを体験的に学ぶ。
6. いろいろな聞き方 (P.64またはP.66) … 30分
  - 同じ言葉でも聞き方を変えることで、話し手がどのように感じるかを体験的に学ぶ。

### 4. コミュニケーション名人になろう！

7. 作文 … 30分
  - 「コミュニケーション名人になるために」をお題に作文を書く。
    - ▶ 小学生を対象としているので、8.傾聴で話す内容を先に文章にしておく。
8. 傾聴 (P.54) … 15分
  - 7.で作文にした「コミュニケーション名人になるために」をお題にする。
9. みんながみんなのサポーター (P.97) … 30分
  - 自身の行動目標を宣言として書き出し、それに対して応援メッセージを書き合う。

— NIED・国際理解教育センターについて—





# NIED・国際理解教育センターについて

## CHANGE IS POSSIBLE!

変えたいことがある！それがよりよい未来の出発点！

私たちは学ぶことで、変わることができる。  
学びあい関わりあうことで、変えることができる。  
あなたが今、変えたいものは何ですか？  
人権と環境が守られ、自立と共生を支えあう  
よりよい未来のために、NIED・国際理解教育センターは  
変化のプロセスを支援します。



## NIEDの活動について

NIED・国際理解教育センターは、1997年から東海地域で国際理解教育の実践・推進を一貫して担い、JICA、自治体、教育委員会、大学、小・中・高等学校、NPO等からの依頼に応え、自主事業と合わせて年間150回以上のワークショップ（研修・講座・会議運営）を提供しています。

研修のテーマは、国際理解系（開発・国際理解、SDGs、国際交流、多文化共生など）、人権系（人権、男女共生、子ども、自己・コミュニケーション、平和など）、環境系（環境、ESDなど）、まちづくり・団体支援系（まちづくり、ボランティア、組織運営、ファシリテーションなど）と幅広く、年間延べ3,000人以上の学び合いを支援しています。

## NIEDの基本情報 ※NIED(ニード) = Nagoya Institute of Education for Development の略

団体名 特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

連絡先 TEL.070-5333-5566 MAIL.nied@love-hug.net

代表者 伊沢 令子

事務局長 川合 真二

会員数 45名（2018年3月現在）

設立年 1997年 / 法人登記 2003年9月11日

在籍ファシリテーター

合計 29名（2018年3月現在）

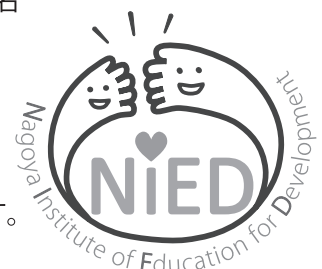
① 研究員：②③を経て指導者研修の実績がある者 … 12名

② 研究員候補：③を経て一般向け講座の実績がある者 … 10名

③ NIEDが自主的に行う基礎講座ファシリテーター経験者 … 7名

## NIEDのロゴマーク

ハートは「わたし・心・愛・自尊感情」を、両手は「あなたとの対話」を、全体の輪は「よりよい未来を共に創るみんなの参加・協力」を表現しています。



## NIEDのビジョン・ミッション・バリュー

### ■ ビジョン … ミッションの先に目指す社会像

よりよい未来を、こどももおとなも、ともに学び・ともに創る社会をめざします。

### ■ ミッション … 団体としての使命

ビジョン実現のために、「国際理解教育」の実践として、次のことに取り組み続けます。

- ① 社会の課題に気づき、人権・環境・平和を守る価値観や行動力を育みます。
- ② 自分、他者、社会に関わるスキルを培い、社会に対する効力感を育みます。
- ③ 様々な教育現場で、参加型の人権教育・環境教育・平和教育などを広め、またその担い手を養成します。
- ④ 様々な地域やテーマの場で、参加と対話によるコミュニティづくりを進め、またその担い手を養成します。
- ⑤ ミッションに関する調査・研究をし、広くアドボカシー活動を行います。

### ■ バリュー … ファシリテーターとしての大切にしている価値観・こだわりどころ

尊厳と信頼：ひとり一人が大切な存在であり、力があると信じること。

願いと選択：何をめざすか、どう行動するかを問い続けること。

教育と実践：ファシリテーターであると同時に、学び続ける実践者であること。

※カギ括弧の「国際理解教育」は、一教育分野としての国際理解教育を指すものではなく、ここに掲げたビジョン、ミッション、バリューを実践、推進する活動全体を指すものである。当団体の名称も同義である。

## NIEDが執筆・協力した主な教材



『教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻 - 人が育ち、クラスが育ち、社会が育つ』

開発教育国際理解教育アクションプラン研究会編、独立行政法人国際協力機構中部国際センター、2006年8月



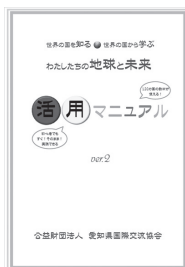
『国際理解教育教材マンガシア～アジアのマンガから世界を見よう～』

公益財団法人名古屋国際センター・独立行政法人国際交流基金、2008年2月



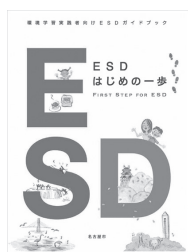
『国際理解教育教材「世界の国を知る・世界の国から学ぶわたしたちの地球と未来」』(120カ国分)

公益財団法人愛知県国際交流協会  
2008年～2013年



『国際理解教育教材「世界の国を知る・世界の国から学ぶわたしたちの地球と未来」活用マニュアル Ver.2』

公益財団法人愛知県国際交流協会、2013年2月



『環境学習実践者向けESDガイドブック「ESD はじめの一步」』

名古屋市環境局、2015年3月